

令和6年8月22日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第33週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第33週（8月12日～8月18日）

## 今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

### 定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎 引き続き多い」

第33週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は992例であり、前週比53.1%減であった。今週の報告数は、お盆期間による診療実日数の減少を考慮する必要がある。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.78、1.23、0.81、0.42、0.38である。

手足口病の報告数は前週比59%減の350例で、大阪市北部3.50、北河内3.04、大阪市西部2.70、南河内2.63、中河内1.42であった。

感染性胃腸炎は51%減の242例で、大阪市西部2.20、豊能1.96、南河内1.50である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は48%減の160例で、南河内1.38、大阪市南部1.33、豊能1.04であった。

RSウイルス感染症は41%減の82例で、大阪市北部1.07、北河内0.84、南河内0.63である。

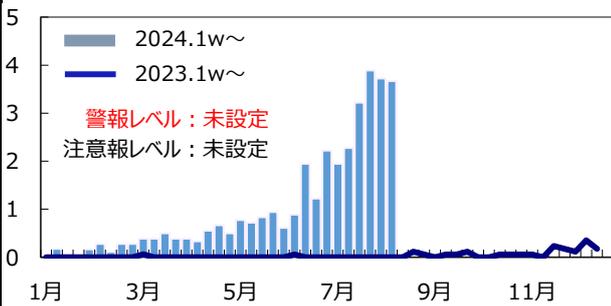
ヘルパンギーナは50%減の75例で、大阪市北部1.57、大阪市西部0.70、南河内0.56であった。

インフルエンザは57%減の35例で、定点あたり報告数は0.11である。南河内0.38、大阪市東部0.18、北河内0.17、大阪市北部0.15、大阪市西部0.13であった。

新型コロナウイルス感染症は40%減の1,403例で、定点あたり報告数は4.58である。南河内8.42、大阪市北部6.75、大阪市西部6.07、堺市5.90、豊能5.81であった。70歳以上が占める割合は、前週より増加し33%である。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、66例の報告があった。前週より1例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

マイコプラズマ肺炎



新型コロナウイルス感染症

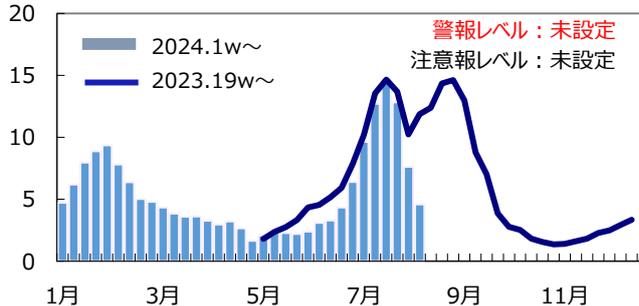


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第33週8月12日～8月18日）

第33週の順位	第32週の順位	感染症	2024年 第33週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第33週の 定点あたり 報告数	2024年第33週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	手足口病	1.78	59%減	0.17	1歳_27%
2	2	感染性胃腸炎	1.23	51%減	1.90	1歳_13%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	48%減	1.21	10-14歳_17%
4	5	RSウイルス感染症	0.42	41%減	0.56	1歳_41%
5	4	ヘルパンギーナ	0.38	50%減	0.55	1歳, 3歳_19%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	4.58	40%減	11.88	80歳以上_18%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

# 第33週のコメント

～ デング熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症	
デング熱	
<p>デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。</p> <p><a href="#">デング熱について（厚生労働省）</a>  <a href="#">デング熱とは（国立感染症研究所）</a></p>	<div style="text-align: center;"> <b>年別累積報告数（大阪府）</b> </div>

**表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第33週8月12日～8月18日）**

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7					2	1		4	118
4 類感染症	デング熱	3							3		11
	レジオネラ症（肺炎型）	1								1	74
5 類感染症	ウイルス性肝炎	1					1				22
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2							1	1	108
	侵襲性肺炎球菌感染症	2				1				1	170
	梅毒	7			1				1	5	1,202
	百日咳	2								2	49
結核 (2024年6月分)	結核 新登録患者数：75名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 25名) (府内累積報告数 490名、内 肺・喀痰塗抹陽性 186名)										

(2024年8月20日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2024年8月20日

(ブロック別)

(年齢別)

第33週 2024年8月12日～2024年8月18日

ブロック名 定点数 疾病名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部		
	小児科	23	17	25	19	16	19	21	14	10	15	18	197
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
基幹	2	2	2	2	2	2	2	4				18	
インフルエンザ	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	306	
小児科 把握疾患	RSウイルス感染症	8	6	21	2	10	4	10	15	1	3	2	82
	咽頭結膜熱	0	2	1	4	0	2	2	1	0	0	4	16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	10	21	11	22	12	15	8	5	8	24	160
	感染性胃腸炎	45	19	36	19	24	9	28	19	22	6	15	242
	水痘	4	3	11	1	2	1	0	2	5	1	1	31
	手足口病	31	19	76	27	42	19	25	49	27	14	21	350
	伝染性紅斑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	突発性発しん	0	1	5	4	4	0	2	1	2	3	0	22
	ヘルパンギーナ	4	6	9	2	9	5	4	22	7	5	2	75
	流行性耳下腺炎	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	1	1	2	0	1	1	1	0	1	1	0	9
合計	119	67	183	71	114	53	87	117	71	41	69	992	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0				1	
	無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0				1	
	マイコプラズマ肺炎	10	7	3	0	7	13	13	13				66
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0				0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0				0	
イ定	インフルエンザ	4	1	7	1	9	1	3	3	2	4	0	35

年齢区分 疾病名	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
	R	21	9	34	13	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1
咽	1	2	7	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	16
A	0	1	2	6	18	21	16	17	16	8	13	27	2	13	160
感	5	25	32	24	11	12	21	12	17	5	14	28	5	31	242
水	0	0	0	0	3	1	6	4	2	1	3	7	2	2	31
手	4	27	94	56	40	42	37	11	6	11	6	12	0	4	350
伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
突	0	3	16	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
ハ	1	7	14	13	14	6	9	3	3	1	1	3	0	0	75
流	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
合計	32	74	199	116	90	83	89	49	44	27	38	82	9	60	992
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
マ	0	0	1	4	1	6	5	5	6	4	3	27	1	3	66
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	0	1	0	0	0	5	2	0	1	1	0	3	3	19	35

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2024年8月20日

(ブロック別)

第33週 2024年8月12日～2024年8月18日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	小児科	23	17	25	19	16	19	21	14	10	15	18	86	57	19	11	8	8	8	197	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4			8	4	2	1	2	0	1	18		
	インフルエンザ	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	137	84	29	17	13	13	13	306	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	8	△ 6	21	▽ 2	10	▼ 4	▼ 10	▽ 15	▽ 1	▼ 3	▼ 2	34	▼ 21	▼ 4	▽ 2	△ 4	▼ 2	▽ 7	▼ 82	4
	咽頭結膜熱	▼ 0	▽ 2	▽ 1	▼ 4	▼ 0	▽ 2	▽ 2	▽ 1	▽ 0	▼ 0	△ 4	▽ 4	▼ 5	▽ 2	▽ 3	1	▼ 0	▽ 0	▽ 16	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	△ 24	▽ 10	▼ 21	▼ 11	▽ 22	▼ 12	▼ 15	▽ 8	▽ 5	▼ 8	▽ 24	▽ 51	▽ 45	▼ 12	▽ 4	▲ 8	△ 11	▼ 5	▽ 160	3
	感染性胃腸炎	▼ 45	▽ 19	▽ 36	▼ 19	▽ 24	▽ 9	▽ 28	▽ 19	22	▼ 6	▼ 15	▽ 81	▽ 62	▽ 9	▼ 9	▽ 15	31	▽ 20	▽ 242	2
	水痘	▼ 4	▽ 3	△ 11	▽ 1	△ 2	1	0	2	▽ 5	△ 1	▽ 1	6	▽ 9	1	▼ 1	▼ 2	4	△ 6	▽ 31	
	手足口病	▽ 31	▽ 19	▼ 76	▼ 27	▼ 42	▽ 19	▼ 25	▽ 49	▼ 27	▽ 14	▼ 21	▼ 108	▼ 111	▽ 19	▼ 18	13	▽ 20	▽ 16	▼ 350	1
	伝染性紅斑	0	▽ 0	1	0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	▽ 1	▼ 0	0	0	0	0	0	▼ 1	
	突発性発しん	▽ 0	1	△ 5	▽ 4	▽ 4	▼ 0	2	▽ 1	2	△ 3	▽ 0	▽ 7	▽ 6	▼ 0	▽ 1	△ 1	▽ 0	△ 3	▽ 22	
	ヘルパンギーナ	▼ 4	△ 6	▼ 9	▼ 2	▼ 9	▼ 5	▽ 4	22	▽ 7	▽ 5	▼ 2	▼ 20	▼ 36	▼ 5	▼ 2	2	▼ 4	▼ 4	▼ 75	5
	流行性耳下腺炎	▲ 2	0	▼ 0	△ 1	▽ 0	▽ 0	▽ 0	0	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	1	▽ 0	△ 1	0	0	0	▽ 4	
把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	▽ 1	1	△ 2	▽ 0	▽ 1	△ 1	1	▽ 0	△ 1	△ 1	▼ 0	▼ 3	▼ 2	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	△ 1	▽ 9	
合計		▽ 119	▽ 67	▼ 183	▼ 71	▼ 114	▽ 53	▼ 87	▽ 117	▽ 71	▼ 41	▼ 69	▼ 315	▼ 298	▽ 53	▽ 41	46	▽ 72	▽ 62	▼ 992	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	1	0	0	1		
	無菌性髄膜炎	0	△ 1	▽ 0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	△ 1	0	▽ 0	1		
	マイコプラズマ肺炎	△ 10	7	3	0	▽ 7	▽ 13	13	13			30	13	▽ 13	0	7	0	3	66		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0			0	▽ 0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	
イ定	インフルエンザ	4	▽ 1	▲ 7	▼ 1	▽ 9	▼ 1	▼ 3	▽ 3	△ 2	▼ 4	▽ 0	▼ 16	▽ 9	▼ 1	▽ 1	1	▼ 0	△ 5	▼ 35	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2024年32週(08月05日～08月11日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	232
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	4
腸管出血性大腸菌感染症	125
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	6
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	2
エキノコックス症	0
エムボックス	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	2
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	2
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0
デング熱	2
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	12
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	3
マラリア	0
野兎病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	38
レプトスピラ症	2
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	4
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	0
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	34
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を)	3
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23
後天性免疫不全症候群	12
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性髄膜炎菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	22
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	7
先天性風しん症候群	0
梅毒	196
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	74
風しん	1
麻しん	2
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	1768	0.36
COVID-19	49208	9.96
R Sウイルス感染症	4341	1.38
咽頭結膜熱	1265	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5511	1.76
感染性胃腸炎	8110	2.58
水痘	454	0.14
手足口病	23693	7.55
伝染性紅斑	437	0.14
突発性発しん	791	0.25
ヘルパンギーナ	3917	1.25
流行性耳下腺炎	120	0.04
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	276	0.40
細菌性髄膜炎	12	0.02
無菌性髄膜炎	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	546	1.14
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	1	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8	0.02

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4943
小児科	3139
眼科	698
基幹病院	481

7月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2674	2.73
性器ヘルペスウイルス感染症	864	0.88
尖圭コンジローマ	571	0.58
淋菌感染症	762	0.78
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1371	2.86
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	76	0.16
薬剤耐性緑膿菌感染症	8	0.02

定点数	
STD	980
基幹病院	480

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

2024年8月20日

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第33週 2024年8月12日～2024年8月18日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	37	27	41	30	24	29	34	20	15	22	27	306
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	215	70	206	80	202	171	64	135	91	80	89	1403
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	5.81	2.59	5.02	2.67	8.42	5.90	1.88	6.75	6.07	3.64	3.30	4.58
32週	8.14	5.48	7.73	7.30	8.46	13.72	7.24	7.80	6.27	6.14	4.15	7.61
31週	10.65	8.19	15.66	12.43	13.63	18.24	10.82	14.05	10.00	11.45	14.33	12.82
30週	12.73	10.19	17.73	12.13	15.08	20.38	14.74	16.55	12.87	13.23	14.07	14.66
29週	12.65	8.59	14.68	9.70	13.04	14.76	12.65	15.55	12.60	13.77	12.04	12.72
28週	10.59	5.96	9.25	7.37	11.83	12.93	10.03	10.50	10.07	9.36	8.59	9.65

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	80	92	51	88	106	127	128	133	145	206	247	1403
	6%	7%	4%	6%	8%	9%	9%	9%	10%	15%	18%	